



第 4 5 号

令和 4 年 3 月 15 日

発行 幌北地区社会福祉協議会
編集 福祉のまち推進センター
後援 幌北連合町内会
幌北会館内 726-6345

～健康と予防 お互いさまの気持ちを大切に～

コロナ禍に負けない活動を！

～気にかけてあい 信頼で係わり合う～



感染力の強いオミクロン株が、北海道でも猛威を振るい「まん延防止等重点措置」（1月27日～2月20日）の適用になりました。期間中の「減少」は穏やかなものでした。未だ、「病床」の厳しさもあり、高齢者に「重症化・亡くなる方」が増加しています。

「まん延防止等重点措置」は延長（3月6日まで）になり、更なる延長もありえましょう。

このような状況を乗り越えるには、共に「支え合う」の再確認が肝要です。人と人の係わりを大事に「誰一人取り残さない」・「つながりを途切れさせない」です。

誰にも会えず、淋しく耐えてこられた「巣ごもり」報告、もう既に亡くなっておられた「孤立死」報告で愕然とします。昨今は、「経済活動」との絡みで論じられることも多くなりました。

また、長期にわたるコロナ禍で、需要と供給のバランスが乱れて、「値上げ」や「値下げ」が頻繁です。原因は「原材料の不足や人件費や運送費の高騰」や「在庫の処理」のようです。とにかく、多くの事業者は、大きな打撃を被っています。

この正念場は、①健康を守る。②暮らしを守る。③福まち活動の継続とします。
健康と経済は二者択一でなく連携もしくは両立で考えるべきかとも思います。
お金が無ければ暮らせません、活動も続きません。公的な事業支援、雇用の支援、生活困窮者の援助などは基本です。

コロナ禍で生活苦になった方々を対象にする特別貸付制度をご紹介します。

貸付の対象	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少し緊急かつ一時的な生計維持のために、貸付が必要になった世帯。
名 称	生活福祉資金（緊急小口資金）特別貸付（一世帯 20 万円）
申 込 窓 口	北区社会福祉協議会：011-757-2482
期 日	令和 4 年 3 月末日 該当者はすぐに相談してみても良いでしょう
実 績	申請受理件数 …………… 3, 556 件 申請受理金額 …………… 674, 740, 000 円

出掛けよう!! の気力と出掛けられる体力に感謝して

～幌北第8町内会～

第8町内会の範囲は、北21条～北23条の西2丁目～西4丁目です。近くに地下鉄駅・バス停・各役所・大型スーパー・あちこちにコンビニ・商店街・繁華街等、何でもありの便利な地域です。

この2年間はコロナウイルス問題により、皆が楽しみにしていた春と秋のレクバス・ジギスカンの集い・あやめ会（楽しく勉強になる）・ラジオ体操会等を中止とし、残念な事でした。慎重に慎重に!!の選択です、

しかし、歩道の花壇の花はコロナなんてどこ吹く風?と言わんばかりに例年と同じく奇麗に咲き誇り、目にする私達は心癒され元気づけられました。花植え隊さん有難うございました。

すっかり遠のいた「出掛けようの気力」と「出掛けられる体力」に感謝してこのひと時を大いに楽しもう!!の集い・・・とりとめのないおしゃべり・ためになるお話もあった・ゲームもした・温泉にも入った。

普段行けない所へ見学にも行った。一緒にの食事が美味しかった等々

安心して顔を合わせてお互いの元気を確認合い「皆で大いに楽しもう」の時間が持てるよう願うばかりです。



大倉山ジャンプ台ツアー



町内会歩道花壇



あやめ会クリスマスパーティ



札幌市防災センター見学会

コロナ下の日赤奉社団活動

～日赤奉社団幌北分団～

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、はや2年近くなります。その恐怖は壮絶なもので、私たちの平穏な生活は一変し、感染症への恐怖の日々が続き、予定していた様々な活動は全て中止となりましたが、制限される中、今の状況でもできる活動として、今年の5月14日に幌北小学校3年生と「花植え交流会」が実施出来たことは奉仕団としてもとても嬉しい事でした。通学路の両側にある「ます花壇」17ヶ所に、奉仕団員1名と児童3名のグループが8株の花を一緒に交流しながら植えます。児童達は一生懸命に穴を掘りながら、植えるのが楽しそうでした。

又後日3年生全員から、団員へ素敵な絵手紙が送られてきて私たちも一緒に作業ができた事に感謝いたします。その後花壇の清掃管理を月に1回行ないましたが、今年は雨が少なく水やりに大変苦労しました。後半にはネオロスの方に水やりの協力や、幌北連合町内会から学校へ、散水ホースを2台寄贈して頂きましたので、奉仕団も有りがたく使わせて頂き大変助かりました。

恒例の雑巾作りも、例年は幹事会の時に皆さんで作業をしますが、今年は奉仕団の有志の方々が、自宅での作業となりましたが、お陰様で例年と同じ枚数を作る事ができました。10月には北辰中学校・幌北小学校・児童会館・幌北会館へ寄贈する事が出来ました。



奉仕団の活動の中には社資募集もあります。日本赤十字社の活動を行なうための資金です。全世界で発災直後から被災地で医療救護活動を行なっております。この活動は「社資」が元になっております。これも「助け合える、住みよい地域を作りたい」という気持ちを待った人々に支えられています。社員の皆様に感謝いたします。

最後になりますが、奉仕団は「16条わかば公園」の委託管理をしています。公園清掃は外での活動なので、コロナに気を付けながら、今年も通して実施できました。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うと共に奉仕団の継続した活動が出来ますよう願っております。

コロナ禍の民生委員児童委員活動を振り返って

～幌北地区民生委員児童委員協議会～

民生委員・児童委員は、「あなたの一番身近な相談員です。」のキャッチフレーズのもと、地域の人々の暮らしを応援するため、国・札幌市から委嘱を受けて、専門家ではありませんが、子どもからお年寄りまで様々な困りごとを皆さんと一緒に考えサポートする活動をしています。

2019年12月に行われた委嘱状伝達式により、現在のメンバーでスタートした幌北地区民生委員児童委員協議会のこれまでのことを振り返りますと、2020年2月札幌市において新型コロナウイルス感染症の感染者が発生して以降、人と人との接触を極力削減しなければならなくなり、ひとり暮らし高齢者等巡回相談活動も対面ではなく、電話やインターネット越しでの対応を余儀なくされました。委員同士のコミュニケーションの場でもある月一回開催の定例会も、書類の受け渡しだけで終わることが続き、緊急事態宣言中の4月の定期総会は、書面決議という初めての事態となりました。

緊急事態宣言が解除された6月からは、3密を避けることを徹底し、定例会は2班体制で行い、小グループでの自主研修や北20条交番の警察官による詐欺被害防止の研修を行いました。ひとり暮らし高齢者等巡回相談を含む行政機関等への協力活動は、感染対策をしっかりとった上で対面での活動を再開することとしました。

年が明け2021年新年を迎えるにあたって新型コロナウイルス感染症は収まらず、毎年恒例の“新春の集い”は、接触の機会を減らさなければならぬことから、幌北民児協初の中止としました。昨年書面決議とした定期総会は、3密を回避する必要性から、札幌サンプラザの広い会場を使用して4月に開催することができました。一堂に会するのは、コロナ禍以前の2020年1月札幌サンプラザで開催した定例会以来1年2か月ぶりのことでした。その後まもなく緊急事態宣言が再度発出され5月6月は市有施設の使用も禁止となり、各委員との必要書類の受け渡しもできなくなる事態となりましたが、その後の感染者数の減少に伴い、緊急事態宣言が解除となった10月からは徐々に通常の活動に戻りつつあります。

子育て支援活動は、主任児童委員が中心となって活動している幌北児童会館での子育てひろば及び子育てサロンがあります。こちらにもコロナ禍の影響を大きく受け、支援辞退や休館になることが続きましたが、緊急事態宣言解除後の2021年10月から再開となり多くの親子が来館しています。

現在は、オミクロン株の出現によって再び感染拡大の様相となっていますが、感染防止対策をしっかりとって、これからも地域住民の一番身近な相談員として活動をしていきます。



2020.8 小グループ自主研修



2020.10 詐欺被害防止研修



2021.4 定期総会



2021.11 子育てサロン